



ケンズグループの最新情報をお届けします。

ケンズニュース

* 隔月発行

2015

104号

7・8
月号



カプセル内視鏡検査と経鼻内視鏡検査を導入しました

カプセル内視鏡検査と経鼻内視鏡検査で、
胃・大腸の内視鏡検査がより身近に、そしてより手軽に。

ケンズグループ理事長

柳川 健



柳川クリニックとみなとみらいケ
ンズクリニックでは、胃と大腸の内
視鏡検査を得意とする医師がたくさ
んおります。そのため、内視鏡検査
を目的にご来院頂く患者さんが多く
苦しめない内視鏡検査に大変満足し
て頂いているのではないかと自負し
ております。

この6月より、最近テレビでも話
題になります「カプセル内視鏡検査」
が両クリニックでお受け頂けるよう
になりました。

カプセル内視鏡検査は、小腸と大
腸の検査として開発され、徐々に普
及しつつある新しい検査機器です。
カプセルを飲むだけで検査出来ると
思われがちですが、大腸カプセル内
視鏡検査ではカプセルを移動させる
必要性から多量の下剤を服用しなく
てはなりません。実際私も受けてみ
ましたが、検査前日に下剤を服用し、
当日カプセルを飲み込んだ後にも下
剤を服用するためなかなか大変です。
しかしカプセル内視鏡から送信され
る画像は想像していたよりもはるか
に鮮明でした。

カプセル内視鏡による大腸検査は、
①通常の大腸内視鏡検査にて癒着や
疼痛のため途中でしか観察できな

かった人 ②お腹の手術歴があり、
癒着があつて通常の内視鏡検査が困
難と考えられる人に対して保険適応
となっております。

通常の内視鏡検査は受けたくない
けどカプセル内視鏡なら、という方
は自費(当院では120000円+
消費税)となります。カプセル内視
鏡では観察はある程度詳細に出来ま
すが、組織検査やポリープ切除は出
来ません。やはり通常の大腸内視鏡
検査がその場で組織を調べたり治療
ができますので便利です。

必要に応じてカプセル内視鏡検査
も受けて頂ける体制となりましたの
でお知らせ申し上げます。

また同時に、「経鼻」内視鏡検査
装置を導入しました。当院では口か
らの内視鏡検査を基本としお勧めし
ています。理由は、画像の解像度が
経口スコープの方が優れているから
です。しかし近年技術の進歩で経鼻
スコープも以前よりも解像度が良く
なつたこともありこの度導入いたし
ました。鎮静薬を使用する事なく経
鼻スコープを口から挿入しても大変
楽にお受け頂けますので、ご希望の
方は外来担当医にお尋ね下さい。
かけがえのないものです。健康に

不安があるときや困ったときには、
なんでも気軽に尋ねてください。皆
様が安心して生活ができるように貢
献したいと思っておりますので、今後とも
どうぞよろしくお願いいたします。



熱中症予防

7月に入り、ますます暑さが増し
てきました。この時期に特に注意が
必要なのが熱中症です。6万人近い
人が熱中症で救急搬送されています。
中でも65歳以上は大きな割合をし
めています。高齢者が熱中症にか
りやすい理由

- ・暑さ、寒さを感じる皮膚能力の低下のため体温調節が遅れがちになる
- ・汗や血流量が減少し循環器系に負担がかかる
- ・喉の渇きを感じにくくなるため水分量が減少する

熱中症を防ぐポイント

■ 暑さを避けることですが、カーテンなどで日光を遮る、吸汗、速乾素材の服を着る、室内が28度以上にしない

■ 喉の渇きがなくても小まめに水分補給をする、多量に汗をかいた時には水分と一緒に塩分もとる。

■ 外を散歩したり、室内で体操するなど普段から暑さに慣れ汗をかく習慣をつけるのですが、小まめに休憩も取って下さい。

熱中症を防ぐ食べ物には、梅干し、これはクエン酸による疲労回復、食欲不振の解消です。スイカには水分補給と疲労回復、利尿作用があります。トマトにはβカロチン・リコピンによる免疫向上、食欲増進があります。なるべく完熟のトマトを選んでください。

これを参考にして頂き、熱中症を予防して、この夏を元気に乗り切りましょう。

「デイやながわ・癒しの樹」も今年で10周年となりました。スタッフ一同皆様感謝し、これからも笑顔で楽しく過ごして頂けるように頑張ります。



デイやながわ・癒しの樹
管理者 楠 純子